

「多言語獲得」の研究をされている、

マサチューセッツ工科大学のスザンヌ・フリン教授(言語学)の

「ことばについて基本的なこと」



Dr. Suzanne Flynn ってどんな人？

幼少のころから母語以外のことばを話すことに対して興味を持ち、1983 年、コーネル大学にて学位を取得。現在、米国マサチューセッツ工科大学にて、言語学および多言語獲得研究の教授として活躍中。ノーム・チョムスキー博士(1928～)の学説として有名な「生成文法(generative grammar)」理論も含め、30 年以上にわたり人間の言語獲得の秘密や環境を研究。自身の考える「ことばの習得のプログラム」が、日本のヒッポファミリークラブで実践されていることを知り、自分の眼で実際に見てみたいと 2008 年に初来日。以来、ほぼ毎年へ渡り、言語交流研究所主催の「多言語とことばの獲得について」の講演をする。

1. Language is a unique and special human capacity.

：ことばを話すことは、人間特有の能力です。

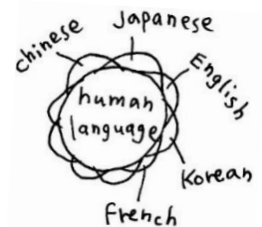
動物や昆虫など人間以外の生物も、苦痛や危険などを鳴き声で仲間に伝えますが、人間のことばのような伝達システムではありません。人間は一人一人が設計図を持って生まれ、それによって私たちは人間のことばを理解し、話せるようになります。



2. There is really only one human language.

：基本的には、人間のことばは一つしかありません。

ことばの発達を可能にする生得的な設計図は1つしかありません。言語間の小さな違いに関しては、たとえば英語と日本語は核になる部分において根本的に同じであることがわかっています。語順や語彙の違いは、学ばなくていいことに比べると取るに足らないものです。



3. A child is not taught language.

：こどもはことばを「教わる」ではありません。

言語習得プロセスは、私たちが生まれ持っている設計図に由来しています。生まれたばかりのこどもでも雑音とことばを区別して聞いています。こどもの脳は活発に、周囲で聞える「ことばの音や形を選び分けて」います。こどもは、周囲で話されていることばの音を第一言語として学び始めます。私たちは遺伝的に話すようにプログラムされていますが、特定のことばを話すようプログラムされているわけではありません。

4. Multilingualism is the natural state of the human mind.

：多言語使用は、人間の知能(知性)の自然な状態です。

そもそも他の生物はバイリンガルにはなれません。多言語が自然な状態というのは、世界を見たらえれば、人口のおそらく3分の2が少なくとも2言語を話すという調査結果があります。またチョムスキーが言うように、第一言語(母語)の方言を話すことのできる能力は、多言語使用の一形態です。

5. There is no limit to the number of languages one can learn.

：一人が習得できる言語の数に限りはありません。

人間の能力は無限です。私たちの新しいことばを学ぶ能力は無限であり、また平等にその能力があります。私たちににとって限界になるものは、時間とエネルギーと欲求だけです。



6. Everyone can learn a new language regardless of age as long as there is desire.

：誰でも、意欲があれば年齢にかかわらず、新しい言語を学ぶことができます。

第一言語(母語)を話すことができる人は、欲求がある限り年齢に関係なく誰でも新しいことばを習得することができます。以前は、12 歳が臨界期とか信じられていましたが、研究を重ねた結果、臨界期などは存在しないのです。こどもは約 12 年かけて第一言語を習得します。大人は 1 年でネイティブのように自然に話せるようになりたいと思いがちです。また才能などにも関係ありません。誰でも第一言語を習得できますし、新しいことばの習得もできます。

7. The more languages you know, the easier it gets.

：多くの言語を知れば知るほど、習得するのが簡単になります。

言語習得の成果は蓄積します。それまでに学んだすべてのことばを、次のことばの習得をやさしくすることに生かすことができます。習得者の第一言語には、次のことばの獲得においては特別な役割はありません。日本語を話す人で、スペイン語を第 2 のことばとして話せた人の場合、英語の獲得をやさしくしてくれたのはスペイン語が話せたことでした。ことばの構造的パターンをいったん理解してしまえばどんなことばの習得も簡単になります。

8. The easiest way to learn a new language is in a naturalistic setting.

：新しい言語を習得するには、自然な方法が一番の近道です。

こどもが第一言語を習得する時の環境や、またはそれにできる限り近い環境づくりが、新しい言語を習得する最適な方法なのです。ほめられ、励まされ、自然なことをたくさん聞くことができ、そして強制されることなく、点数をつけられることもない環境だといえるでしょう。



9. You never lose the languages you acquire.

：いったん獲得した言語は、決して失うことはありません。

昔は話せたんだけど、もう忘れてしまったとよく聞きますが、それは正しくありません。いったん、ことばを組み合わせる新しいフレーズや表現ができるようになった人は、その基礎の部分はなくなりません。長い間、忘れていて出てこないことはあっても、それは他の認知領域の問題であって、ことばの能力の問題ではありません。

10. Maintaining fluency is easiest when there is a need to be multilingual.

：ことばの流暢さを維持するには、多言語の場（環境）があることが一番です。

いったん獲得したことばは忘れないと言いましたが、そのことばの流暢さを維持するには、そのことばが聞えている環境に身をおいておく必要があります。

11. A bi/multi-lingual has a heightened ability to monitor the environment.

：バイリンガル・マルチリンガルの人は周囲の状況を観察する能力に非常に長けています。

バイリンガルの人とモノリンガルの人との比較調査によって、二言語使用者は、状況観察にかかわる脳の活動がより少ないにちがわず、より成果を上げた、つまり脳の活動の効率がより良いということが示唆されています。

12. A bi/multilingual can understand and appreciate cultural references and nuances in a manner that a monolingual is unable to do.

：バイリンガル・マルチリンガルの人は、モノリンガルの人には不可能なやり方で、文化の差異やニュアンスを理解し認識することができます。

マルチリンガルの方は、より深く、より複雑なレベルで、世界を体験します。他人との表面的なかかわりではなく、人間の根幹でつながることができるような、より有意義なやり方で他人との人間関係を築くことができます。言語の結びつきや多言語使用によって、世界の社会の分断は容易になくすることができるのです。

13. Knowing multiple languages has long-lasting positive consequence at multiple levels throughout one's lifetime.

：複数の言語を知るとは、さまざまな次元において、ポジティブな結果をもたらす、それは生涯にわたって続きます。

2つ以上のことばを理解できることに、認知上のメリットがあることは数十年前から知られていました。またバイリンガルの方は、小さい時からひとつのものに違う名前があることを学びます。スペイン語と英語を話す人は、食事をする時に家族が周囲を囲む4本の脚をもつ厚い板が「table」または「mesa」であることを知っています。1つのものに、ことばによっていくつもの名前があることを理解するには一定の抽象的な思考が必要で、モノリンガルの方はこのような体験をすることがありません。

最近の研究では、バイリンガルの方は、年をとるにつれ「集中力をコントロールする能力が向上」することがわかっています。それどころか、10年は知的年齢が延びるとする研究もあります。

14. The more languages you learn, the smaller the world gets and the greater your understanding of the world and its people.

：多くの言語を習得すればするほど、世界は狭くなり、世界や世界中の人々への理解が深まります。

ヒッポの活動には、ことばとその習得に関して私たち研究者が正しいとわかっていることが完璧に実現されています。ヒッポでは「ことばを歌う」ことから始めます。それぞれの言語を話すたくさんの人の音声を聞きます。とても自然に学んでいきます。ホームステイでは他の言語や文化に浸ることができます。

新しい言語を習得する際に、心を開いてどんな人でも受け入れることができることは、他人に対して寛容になるという以上の意味があります。最も重要なことは、ことばを通じて人とつながる力をよく知っているということです。ヒッポの活動はそのような意味で実に素晴らしいプログラムであり、生き方でもあるのです。

